辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願

衆議院議長　様
参議院議長　様

【紹介議員】

請　願　趣　旨

防衛省・沖縄防衛局は、再三にわたって示された沖縄県民の辺野古新基地ノーの民意を無視し、辺野古側の浅瀬での工事を進め、「進展」を演出していますが、最近、工事の本格化を阻む重大な問題が明らかになりました。

第１は、防衛局が開示した報告書により、水深のある大浦湾側の護岸設置予定の海底が深さ40メートルにわたってマヨネーズ状の粘土質の軟弱地盤になっており、地盤改良など工法変更なしには工事は不可能な状態にあることです。地盤改良工事は長い年月と莫大な費用を要し、計り知れない環境破壊をもたらします。また、基地予定地に活断層があると専門家が明言しており、きわめて無謀な計画です。

第２は、新基地滑走路予定地周辺に、日本の航空法や、米軍の基準をも超える建造物が多く存在していることです。米軍の基準では滑走路の中心から半径2286メートルの高さ制限は標高55.7メートルとなっていますが、この範囲に高さ制限を超える沖縄国立高等専門学校、久辺小・中学校、沖縄電力送電鉄塔などがあります。防衛局は沖縄電力などとは２年前から移設等の交渉を行う一方、国立高専などは放置して工事を進めています。

このほかにも、基地予定地に生息している絶滅危惧種のオキナワハマサンゴの移植を知事が許可しない中で工事を強行しているなど、問題が山積しています。

一方、米軍普天間基地所属の軍用機による、墜落、炎上、部品や窓枠落下などの事故が2016年以来絶え間なく繰り返されています。住民の生命と生活、子どもたちの安全と教育活動を守るために、普天間基地の運用停止と撤去は一刻も放置できない状態です。

以上により、私たちは下記事項の実現を強く求めます。

請　願　項　目

1．辺野古新基地建設工事は中止すること。
2．政府が約束した普天間基地の運用停止と撤去を行うための対米交渉を行うこと。

氏　名	住　所

取り扱い団体　全国労働組合総連合　〒113-8462　東京都文京区湯島 2-4-4　全労連会館４Ｆ
TEL. (03) 5842-5611　FAX. (03) 5842-5620　http://www.zenroren.gr.jp

辺野古に新しい基地はつくらせません

世界一危険な普天間基地の撤去を

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町 2-11-13 MM ビル II 502
電話 03-3264-4764　E-mail：anpohaiki@nifty.com

署名にご協力ください